



コンバイン事故

コンバイン事故の3つの特徴

1 走行中(圃場・道)の転落、横転

- 死角:バック・足下など(機械の大型化により、死角が拡大)
⇒ 誘導者をつける、道幅を示すポールを設置など
- グレーンタンクに籾が一杯になるにつれ、重心が上昇、かつ、タンク側に傾き、転倒しやすくなる
⇒ バランスを考えた操作を

2 整備中の事故

- コンバインはカバーを外すと「回転物」だらけ
⇒ 整備で手を出すときは、「回転を止めて！」

3 「手こぎ」での巻き込まれ事故

- だぶつく手袋の着用、無理な姿勢での手こぎ
⇒ ぴったりした手袋着用、稲束は押し出すように入れる

1 圃場・道路、走行中の転倒、転落

①特にバック時に転落

事例

三角形の圃場の角刈り中、後進時に、畦を乗り越え4m下に転落。打撲、擦過傷。



小まめに後方の確認を、補助者は誘導を！

②死角は前方にも

事例

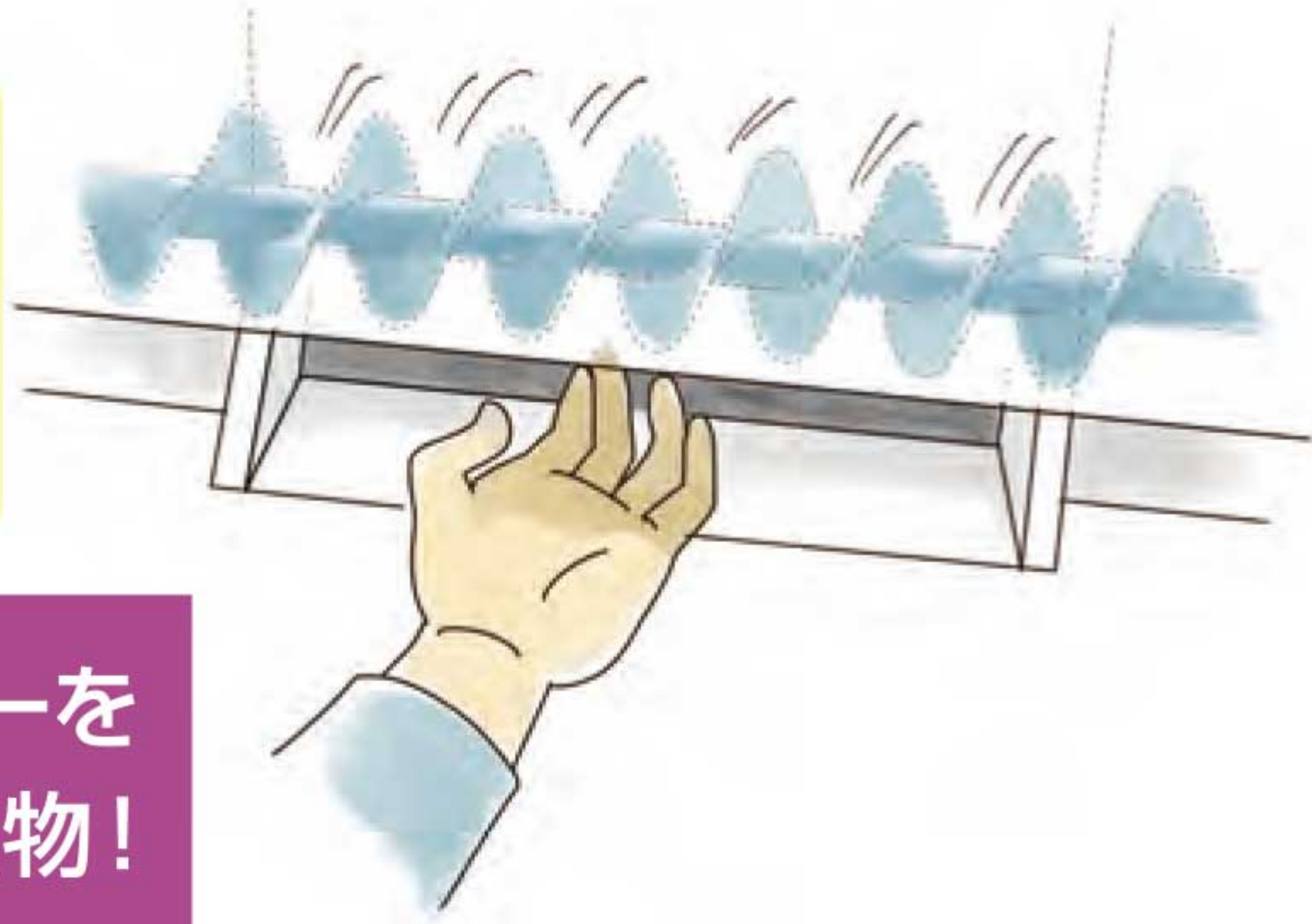
オペレーターは、複数の補助員がコンバインを離れたと思い、発進し下敷き。実際は、死角の位置に補助員が…。



2 整備中の事故、確実に回転を止めて！

事例

秋作業後の清掃中、掃除口を開いて手を入れた瞬間、回転していたスロアに触れ、指を切断。

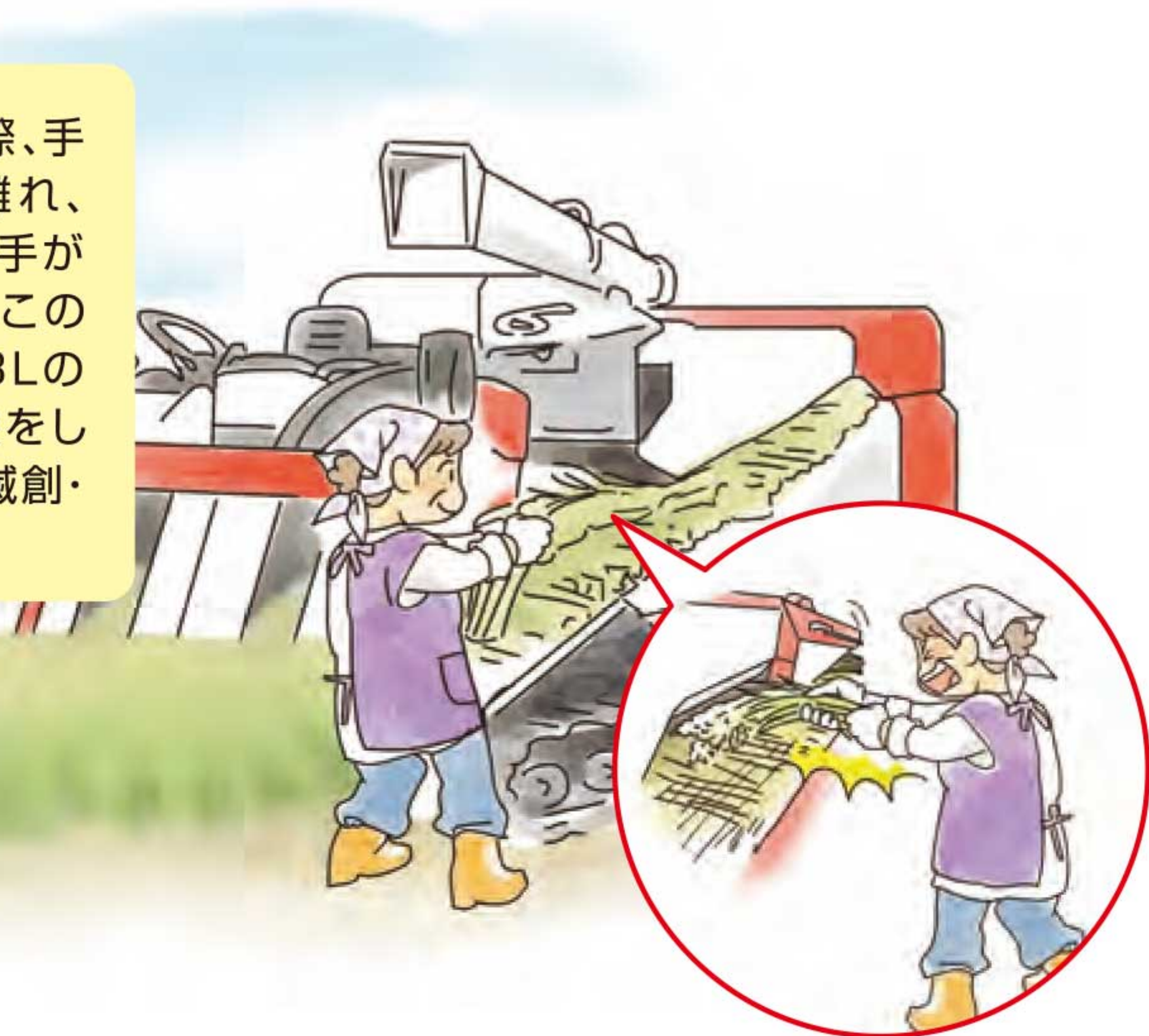


コンバインは、カバーを外すとまるごと回転物！

3 手こぎ中の事故

事例

手こぎ終了間際、手元から視線が離れ、搬送チェーンに手が巻き込まれた。このときに限って、3Lのダブついた手袋をしていた。左手挫滅創・入院2ヵ月。



1. 稲を確実に押し出してやる
2. 手袋をしない(※手袋装着の場合はフィットしたものを使用)
3. 稲から目を離さない

その他の事故

① 藁などが詰まり除去中、巻き込まれ ⇒回転を止めて!

- エンジンをかけたまま、カッターの藁除去中、手首をカッターで切断
- チェーンに藁が挟まった。引っ張った時逆に巻き込まれ、指切創
- 詰まった粉を、スローから掻き出そうとして、指がはじかれ、挫滅創

② 車両・台車への積み込み中の事故

- 台車にコンバインを乗せ、降りる際足を踏み外し転倒、頭部外傷・水頭症
- トラックに積み込み時、歩み板が外れ、機体が傾き、投げ出され、全身打撲

③ 大型化により「車高」が高くなって

- 特に、降車時に足を滑らせ、転倒、転落による足等の骨折など、多数

④ ラジエーターがオーバーヒート

- オーバーヒート時に、高音の警告音がなり、慌てて、ラジエーターの蓋を開けて、火傷

その他のコンバイン等の事故

① 自走式ハーベスター

特に詰まり除去時に

② 汎用コンバイン

